

事業所自己評価表

チェック項目		はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・ボルダリングルームは暖かく、明るく、特別な外観なので、もっと活用できるとさらに良い環境になると思う。
	対応				ボルダリングルームでの活動を積極的に活用していく。 触る、見る、散歩、別室で気持ちを落ち着ける時に利用
	2 職員の配置数は適切であるか	8			・時々、利用者に対して、スタッフの方が多すぎると感じる時がある。 ・配置としては適切だと思うが、日によっては、送迎時の乗り降りや入浴などが重なった時に手薄になる時がある。
対応				スタッフの方が多すぎる→手が空いたら、掃除、個別指導（他の子どももしっかり見た上で行う） 使っていない椅子は端において、空間を整理する。 椅子のストッパーが止まって無い事がまだあるので、乗せた人が最終的に確認する。 手薄になる時→スタッフが見守りとして1～2人残り、「お願いします」と声掛けをしあっていく。 遠い方の車を先に乗せて、見守りの人数を少なくして済むようにする。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		2	・全員参加の話し合いが難しく、一部のスタッフでの決議が多い。そのため、書面での報告になり、マニュアルにまとめられないことがある。 ・漠然とした表現が多く、わかりにくい。
	対応				全員参加はこれからも難しいと思う。話し合えるスタッフで話し合っ て、話し合いに参加できなかった人は記録を見て、意見を伝えるように していく。 記録は簡潔に、わかりやすく書く努力をする。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		1	・各担当が専門性を活かし、良い内容と思うが、もっと回数を増やして欲しい。
	対応				各スタッフが受け持つ分は増やさずそのまま、あとはそれに加えて、 避難訓練とか、防犯、感染予防、虐待防止、などの必ず行わなくては いけないものを入れていく。
12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		・項目は適切に選択されているが、具体性に欠けるものや現実性の低いものもあるように感じられる。	
対応				9月や3月に評価を行い、目標として難しいものは目標や支援内容の見直しを行っている。	
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1		7	・時間に追われ、毎日十分に行われているとは思わない。	
対応				「はい」といえるような支援を心がける。 個別支援計画の項目を絞るのはどうか	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	1			
対応				今日は個別に力を入れる、今日は集団に力を入れるとしてもいいのではないか。 臨機応変にしながら支援していく 新しく作ってもらったリハの個別活動内容を活用していく。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		2	・利用者の直近の情報が伝わりづらく、変化に関する検証ができていない。(例：前回できたことが今回もできているか)
		対応				活動に関すること：Sunnyは始まる前に言葉で伝えている。Rainbowは活動日誌に書いてあるのでそれを見てもらっている。Natureは田淵さんに説明している。 リハ：支援計画に沿った経過を見てほしい。リハの報告書を注意点や変わってきた点を赤にしたので、特にそこに気を付けて見てほしい。 例えば…莉子ちゃんについて「どう介助すればいいか」ではなく、「転倒しやすい」など根本を考えてほしい。 言葉でも伝えていく。「知っているかも…」と思っても伝えようとする。わからない方も自信がなかったら口に出す。朝のミーティングで自分の担当の子どものどうしても気になる事、変化が気になる事は伝えてみんなで変化を見てもらう。 月曜日を有効活用する！！話し合いたい事をどんどん上げる。言いにくいことはこっそりでもOK！ みんなの意見を反映させて、働きやすい職場を作る！！
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		2	・スタッフ全員での意見交換ができていない。 ・毎回振り返りはできていないが、空いた時間がある時は話をしている。
		対応				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		1	・継続的に変化が記録されておらず、変化の流れや要因がわかりづらく、達成判断が理解しにくい。
保護者へ		対応				記録の仕方の工夫をしていく。 放デイは、記録は残っている人がする事が多いので、これは残したいという事は書き足したり、記録してくれる人に伝えたりしていくのを徹底していきたい。
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・相談を受けた場合、できる限りの対応助言はできていると思う。対応後の結果までしっかり記録すべきと思う。
		対応				どんな相談があり、どんな助言を行ったかなど記録に残すようにする。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		2	・もう少し細やかで、個別の対応について確認しなければと考えている。 ・防犯マニュアルが整っていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		1	・マニュアルもできており、基本的な訓練も実施している。特定のケースに対しての訓練を行うのも良いと思う。
		対応				防犯マニュアルについて考えていく。 緊急時の個別対応についても考えて決めていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・事案件数も多く、対応もされている、対応は継続されているか、十分かというフィードバックは行われていない。
		対応				ヒヤリハットを何か月か後？定期的に？見直しをして実施できているか、新しい対応が定着しているか確認を行っていく。